

## 臨時市議会から



# 「木材団地」造成、延期 五月臨時議会(予定)で再度審議

二月八日の臨時市議会で、高知県中央木材工業団地協同組合八九億円で売却することになった「比江山」の一部約一〇ヘクタール。この土地の造成工事請負契約の締結など議案四件、報告三件を審議するための「臨時市議会」が、四月十六日から四日間の日程で開かれ、し尿汲取料金の引上げなど三議案、報告三件を可決、承認、造成工事請負契約締結の一議案を継続審議として閉会しました。

今議会で議論の中心となったのは「造成工事請負契約の締結」。これは二月の臨時市議会でも「比江山」の一部約一〇ヘクタールを木材団地へ九億円で売却することが決定し、この土地を市が造成工事を行い造成後に団地側へ引き渡す、という売却時の条件にともない、市は三月三十一日に造成工事の指名競争入札を実施(四億二千万円で落札)、仮契約を行い、議会の議決を求めたものです。

可があるのか。本契約後(議決後)に許可がおりなかった場合はどうするのか。造成工事の金額(四億二千万円)が大きく、中間払いも必要になってくると思うが、支払は造成業者に中間で、入金は工事完了後に団地側から……その場合の金利はどが負担するのか。本契約の時期や工期は、「工期が延びたときの責任はどがとるのか」、「排水問題が一番問題となると思うが、水路や進入路についての計画はどうなっているか」残

地六分の造成も同時に発注すべきだが、いつごろするのか。などの質問に対して執行部は――「開発許可については、県から①地元の完全な了解をえる②農地の転用をする③国有地(道路、水路)の払下げをうける④都計法による工場区域指定をうけるような将来に対する構想を明確にしておく、の四項目の条件をつけられていますが、現在手続きなどをしており近日中における見通しです」「中間払いの問題も当然起って

と思うが、両社(団地、造成業者)と話し合っています」「本契約は議決後、工期は五十五年十二月二十五日までの予定で、工期が遅れた場合の責任などくわしいことは、契約書のなかにうたい込みます」「水路や道路については、地元の同意がえられ次第着工したいと思っています」「残地六分については現在、測量、設計中です。できあがり次第着工します」と答弁。

## 市民憲章

わたしたちの郷土南国市は、土佐文化の発祥地、そしてまた、清新な生産都市であります。この誇りのうえにたち、さらに一大飛躍発展をとげるために、次の信条を守りましょう。

- ☆文化財と自然を保護し、新しい文化のかおり高い歴史のまちを築きましょう。
- ☆青い空、清い海、緑の山野、そして豊かな太陽のふりそそぐ、健康で明るいまちにいたしましょう。
- ☆川は市民の顔、清くて豊かな流れをつくりましょう。
- ☆第三日曜日は家庭の日、全戸笑顔で子供を守り育てましょう。
- ☆老人は市民の宝、小さい親切運動と福祉の豊かなまちにいたしましょう。
- ☆三悪を追放し、交通事故のない住みよいまちにいたしましょう。

千万円、四月十六日に三億八千万円がすでに入金済み、残る四億円も六月末までに入金する……団地側は造成、登記もできない時点である。こうした誠意にもこたえて市は一日も早く造成工事を完了すべきではないか。などの意見も出されましたが、常任委員会で審議した結果、「一日も早く造成しなればならないが、設計変更や進入路の問題が解決していない。地元との協議もまだ煮詰まっていないので、なお継続して審議する必要がある」として継続審議となり、比江山の造成は「一時ストップ」となりました。

問題点を煮詰め、一日も早い造成工事着工にむけて、再び臨時市議会(五月下旬の予定)で審議されることになりました。

### 5月1日からし尿汲取料金を引上げ

今議会で可決された議案は――「し尿汲取料金の引上げ」「市税条例の一部改正」「昭和五十五年一般会計補正予算」の三件。

■し尿汲取料金については、燃料費の値上げなどのためにやむを得ず引上げられるもので、五月一日から実施されています。

★五十四年度……二百七十円を三百三十円に、これをこえる十八円につき……九十円を百十円に、

それぞれ引上げられます。(なお、十八年度未満は十八円とみなします)この問題については、質疑のなかで「本市の汲取料金は他の市町村と比べて高い、また電話をしてもなかなか汲取りにきてくれないといった声もきく。こうしたことは市の責任である。業者に約束していた中継さうの設置も市は実現できなかった。どんな努力をしたのか。また、中継さう設置にかわるものとして、一千万円の予算措置をして業者にお願いするののか。」「現在市は四業者に委託して行っているが、業者の数をふやして、地区割なども市(公害環境課)で決めて住民サービスに努めてはどうか」などの意見も出さ

れ、教育民生常任委員会では、現状の把握に努めこれらの問題点を早急に改善するよう、執行部に要請しました。

■市税条例の一部改正は、三月三十一日に国会で地方税法が改正されたことにもなうもので、住民税の課税最低限を引上げて低所得者層の減税を図り、その代り所得割、均等割の引上げで全体としての減収を防ごうとするものです。

■昭和五十五年一般会計補正予算は、木材団地に売却した「比江山」の代金七億八千万円(一億二千万は五十四年度で)と造成工事費四億二千万円を予算化したもの。また、昭和五十四年度一般会計補正予算の専決処分などの報告三件を承認しました。

## 各地区の話題を紙面に 広報通信員を募集します

「広報なんこく」では、紙面を市民のものにするため、各地区の催し物やトピックスをお知らせいただく「通信員」を募集します。

古い話、新しい話、楽しいことなどで紙面に「生活」をおこもると、この制度を計画しました。多数ご応募ください。

■応募資格：この四月一日現在で満二十歳以上で、南国市内に住んでいる方。(ただし、公務員など公職にある方はご遠慮ください。)

■募集人員：二十名以内

■任期：昭和五十六年三月末まで

■内容：お近くでの「できごと」や「催し物」の予定や結果、「意見」などを広報事務局まで、電話や

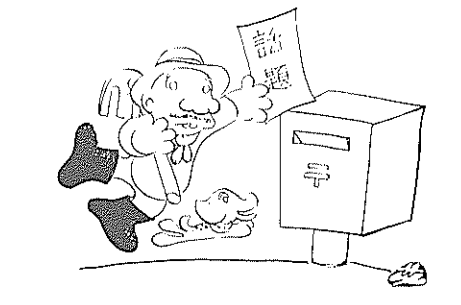
ハガキでその都度お知らせいただきます。

■お礼は、年間一人三千円(予定)。

■申込期限：五月三十一日まで。

■地区別などを考慮して、市が選考をします。

■申込方法：係にある申込書に記入のうえ、提出してください。あらかじめお知らせくだされば、申込用紙をお送りしますので、南国市大田中2301、南国市役所企画財政課広報広聴係までご連絡ください。



## あなたの顔を差しあげます

広報紙にのったあなたの写真を差しあげます。ご希望の方は企画財政課広報広聴係へ、ハガキ、電話(3-2111)でどうぞ。

